

## 甲佐高校生のための公営塾

1人1人の進路に合わせた個別指導

県立甲佐高校で、「甲佐高校生のための公営塾『あゆみ学舎』」が開塾しています。

同塾は、奥名克美町長の掲げるマニフェストの1つである同高の特色づくりの一環として、町教育委員会が運営。1人1人の希望する進路や学習の進捗に合わせた個別指導を、平日の放課後に同高で実施しています。

11月に町地域おこし協力隊に任命された越名智美さん（大町区）、上松愛佳さん（北早川区）、2月に同隊に任命された坂本紫織さん（北早川区）が指導に当たられています。



▲公営塾「あゆみ学舎」では、個別指導を実施しています

## 本町の中学生3選手が活躍

サッカーの全国大会・九州大会に出場



▲サッカーの全国大会に出場した久米桃選手（写真左）、九州大会に出場した田上廉太郎選手（同中央）と田上欽久郎選手（同右）



▲甲佐初市で今年初開催された大綱引き大会

## 春の訪れを知らせる祭り

第350回甲佐初市が開催

3月10日（土）・11日（日）岩下・緑町の市街地ほかで、第350回甲佐初市が開催されました。

春の伝統の祭りは、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催。会場には、苗木や花苗、陶器のほか甲佐名物の「五郎飴」などの露店が並び、商工会青年部によるもちつき大会や、商工会女性部によるぜんざいやだんご汁の販売が行われました。

また、甲佐町文化協会による書道や生け花などの作品展示、レクリエーションダンスの発表、今年初開催の大綱引き大会なども行われ、春の伝統の祭りを大いに盛り上げました。

本町の中学生3選手が、サッカーの全国大会・九州大会に出場し、活躍しました。

2月17日（土）・18日（日）、滋賀県で開催された第7回びわ湖カップなでしこサッカー大会（U-12）に、益城ルネサンスFCジュニアの久米桃選手（麻生原区・甲佐中1年）が出場しました。同チームは予選リーグ3位となり、順位リーグに進みました。

2月3日（土）・4日（日）および17日（土）・18日（日）に、鹿児島県で開催された第27回九州クラブユース（U-14）サッカー大会に、ソレッソ熊本の田上廉太郎選手（横田区・甲佐中3年）が出場しました。同チームはベスト8に進出しました。

3月10日（土）・11日（日）に、大津町で開催された第49回九州ジュニア（U-12）サッカー大会に、ソレッソ熊本の田上欽久郎選手（同区・甲佐中1年）が出場しました。同チームはベスト8に進出しました。

3選手の今後の活躍が期待されます。

▼「虎穴ニラずんば」ニララーメンと食べるニララー油がお披露目



て、町内の飲食店が開発した「ニラお焼き」、「ニラカレー」、「ニラガパオ」など、飲食店が並びました。

イベントステーションでは龍野龍神太鼓や若草保育園の園児によるニラダンスなどが行われ、同時開催された「ハッピーマルシェ」では、ハンドメイドや雑貨などのお店が並び、多くの人でにぎわいました。

## 災害へ備えた通信体制を

防災用Wi-Fiを町施設5カ所に設置

町施設5カ所に防災用Wi-Fi（公衆無線LAN）のアクセスポイントを設置し、3月から利用開始となりました。

住民や観光客などの災害時の情報収集におけるインターネット通信環境を確保するために、町が整備。役場庁舎や、町指定避難場所の町総合保健福祉センター、農業研修センター、町民センター、また町長マニフェストでの「やな場の集客力強化」の一環として「やな場」にも設置しました。

同Wi-Fiは平時にも無料で利用できます。



▲Wi-Fiが利用できる町生涯学習センター・ギャラリーモール

## 美味しいニラで復興を

2月25日（日）ニラパワーEXP02018

2月25日（日）町農業研修センター「ろくじ館」で、「ニラパワーEXP02018」が開催されました。同イベントは、「農と食が元氣な甲佐町」、「甲佐町特産のニラ」を町内外に発信していくことを目的に、甲佐町食による復興協議会（越智新代表）が主催。

会場では、「郷土の食材開発モデル事業」を活用して開発されたニラのラーメンと食べるラー油の「虎穴ニラずんば」がお披露目されるとともに、こうさんもん認定品の「こもん」をはじめとして、町内の飲食店が開発した「ニラお焼き」、「ニラカレー」、「ニラガパオ」など、飲食店が並びました。

イベントステーションでは龍野龍神太鼓や若草保育園の園児によるニラダンスなどが行われ、同時開催された「ハッピーマルシェ」では、ハンドメイドや雑貨などのお店が並び、多くの人でにぎわいました。



▲町総合保健福祉センターで開催された学習会

## 地域の支え合いを育てる

町総合保健福祉センターで学習会を開催

2月27日（火）町総合保健福祉センターで、「甲佐町地域の支え合いを育てる学習会」が開催されました。

同学習会は、高齢者などの在宅生活を支える地域の支え合い体制を構築することを目的とした「生活支援体制整備事業」について、地域の方と事業の共通理解を図るため、町域包括支援センターが主催。約130人が参加しました。

講師の（公財）さわやか福祉財団の鶴山芳子さんが「助け合いの地域づくりを今、みんな考える時」という演題で講演。助け合いながら行うグループワークを実施しました。